陳 情 文 書 表

受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名	陳情第141号（7. 8. 27） 加齢性難聴者の補聴器購入に助成を求める陳情
陳 情 の 要 旨	1. 加齢性難聴者の補聴器購入に対する神戸市の助成制度を創設すること。
陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名	神戸市中央区 全日本年金者組合神戸支部協議会 議長 木下 雅春
送 付 委 員 会	福祉環境委員会

27
2025年8月28日

神戸市会議長
菅野 吉記 様

住所 神戸市中央区
氏名 全日本年金者組合神戸支部協議会
議長 木下 雅春
電話

加齢性難聴者の補聴器購入に助成を求める陳情

【請願趣旨】

私たちは加齢による難聴者の補聴器購入に対し国に公的助成を求めることや、国の助成ができるまでは市独自の助成をおこなうよう、毎年神戸市へ求めてきました。

神戸市からは「他の政令指定都市とともに国に対し、医学的エビデンスをふまえたうえで認知症予防の効果が認められる場合は公的補助制度を創設するよう要望しています」との回答をいただいています。

今日、補聴器購入助成自治体は全国で約3分の1に広がり、政令指定都市も大阪市を含め5都市になっています。

日本医学会連合は「加齢性難聴はコミュニケーションの低下だけでなく、認知症やうつ病、社会的孤立といった様々な身体的 社会的な問題につながる可能性がある」よって対策の1つとして「欧米諸国と比べて難聴者における補聴器の装用率が低い現状を打破する為に補聴器購入を助成する自治体の比率を引き上げることを目指す」と記しています。

以上の理由から、以下の事項について陳情いたします。

【陳情事項】

1. 加齢性難聴者の補聴器購入に対する神戸市の助成制度を創設すること。